

第1回松本市アルプス公園魅力向上検討会議

令和4年10月25日（火）

14:30～16:00

アルプス公園森の入口休憩所

【市長挨拶】

（発言者：臥雲市長） 松本市の臥雲義尚でございます。この度はアルプス公園の魅力向上検討会議の委員にご就任をいただきまして誠にありがとうございます。先ほど未整備地について現場も観ていただきましたが、そしてここまでアルプス公園の中を見ていただきました。

このアルプス公園は昭和49年、1974年に開園をいたしました。私が小学校5年生のときであります。開智小学校に通っておりまして、その後アルプス公園は少し下ったところにあります、丸の内中学校で中学校生活を過ごしましたので、学校のすぐ上にありました。城山公園からさらに歩いて行ったところにできたこの広大な自然公園というのは私の中学生、高校生ときに非常にいろいろな形で利用させていただいた公園であります。そしてその後平成19年、2007年に北側にさらに公園を拡張して今に至るわけであります。

広さは72ヘクタールの北アルプスを一望する高地に、同時にまたはこれが市街地からほど近い場所にこれだけ広大な都市公園を整備していただいた先人の皆さんに非常に大きな、意義のある事業をやっていただいたと感謝をするとともに、これから未来に向けてさらにこの公園の魅力を上昇させていく。

再来年は開園50年という歴史を刻むという年でもありますので、ぜひ皆様方に活発な議論をしていただいて、さらなるアルプス公園の方向性を見出していただければと思

っております。

南側は開園当初から時代の要請に対応する施設型の公園として、そして北側は自然環境を重視した自然活用型の公園というふうにそれぞれ位置づけしてきたとなりますが、今回とりわけ主軸として検討をお願いする未整備地につきましては、開園後もまきば山荘跡地は私有地として所有され、それが平成27年に市に売買され7、8年経ちます。

先ほどご覧いただいたようにロケーションとしては北アルプス、安曇野を一望できる場所でありまして、今臨時駐車場としてしか扱われていない場所をぜひとも子どもからお年寄りまで、アルプス公園の玄関口としてふさわしい場所として活用するにはどういう方法が適しているのかということをお願いすることに検討をしていただいております。

先ほど見ていただいたまきば山荘の土台として残っていた展望広場は耐震強度不足で解体をいたします。今年度中には解体作業をし、あそこが更地になります。更地になった場所も含めたエリアを、世代を超え、未来に向けた構想をぜひ打ち立てたいと思っておりますのでよろしく申し上げます。

また北側拡張部についてはこの会議と別に少し先だって、既に検討実行ということで進めているという部分がございます。その委員として兼任していただいている方にもこの会議に参加という形をとっております。

この未整備地並びに、この南の入口を主軸とすることを検討していただきたいと思っております。その上で北側拡張部を含めた全体の視点というものも用いて協議をお願いしたいと思っております。

最後に改めてなりますが松本城公園とこのアルプス公園は、松本市が二つ有している総合公園という位置づけ

でございます。是非この松本城公園は全ての市民にとって国宝を抱えた公園としていろんな形でボランティアの皆様にも維持・管理に当たっていただいておりますが、アルプス公園もそれと並ぶ存在としてこれから市民の皆さん、それから県外から訪れるみなさんに楽しんでいただける、親しんでいただける公園になることをご祈念いたしまして、私からの挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

【座長挨拶】

(発言者：原)

皆様改めまして、こんにちは。ほとんどの方が初めてだと思うので、こちらのご紹介では、一般社団法人ソマミチ代表ということで書かれているのですが、もう一つの役割として柳沢林業の代表もしております。少し自己紹介がてらというか、それまでの取り組みとかそのあたりをお話できればなと思うのですが、このアルプス公園から続くエリア、私達が今事務所を構えているところが岡田という地籍の中ですけれども、その裏山に当たる場所一部お借りして、地域の方々といろいろな交差点の整備だったり、利活用だったりを進めているところもあります。きっかけは松枯れに始まる森林整備の中で事業として進めてきたところがあるのですが、切った後の利活用って実はどこのエリアでも考えられない。そこに対して地域の方たちに継続的な維持管理っていうのを考えていく上では、やはり営みに基づくようなことが必要じゃないかと。そのように呼び掛けたところ賛同していただいた方が何人かいて、そんな方々を中心として任意団体が立ち上がり、今では年に何回かイベントを行って本当に少しずつ少しずつですけれども、あそこは市街化調整区域内でかなり高齢化も進んでおります。すごくいい素敵な場所ですけれども、荒廃の地が広がってしまっていて、大変残念な状況もあるのですがそこを7

年ぐらいの時間をかけて本当にちょっとずつ綺麗な風通しの良い場所にしてきました。今ではかなり散歩をする方たちも増えてたりして、イベントすると多くの方たちに足を運んでいただけるようにはなりました。まだまだいろいろ仕組み化するには時間がかかりそうなどころはあるのですけれども、一つの事例として皆様にご紹介したいなと思ひましてお話差し上げました。

あと今回、市の方からはゼロベースでということで、キャンプ場ありきの話ではないですよということではあったのですけれども、事の発端はキャンプ場の整備計画を今、皆さんで見学した場所に建てようということが発端にあったと思うのですけれども、柳沢林業も、今年の春から美鈴湖にある森の国オートキャンプ場というところも指定管理ですけれども運営を始めております。私達の思いとしては、林業はなかなか厳しいところがあるのですけれども、山を多角的に利用できたらいいのかなど。それが山村振興などに繋がるのではないかとということでキャンプ場みたいなものを考えてはいたのですが、こちらを管理されているとTOY BOXさんがお辞めになるということでこれは何かいいご縁かなと思って手を挙げたところ指定管理を受けることができたということで2年近く運営をしてきているのですが、やはり市の施設ということでいろいろな制約もあり、条例で細かいところまで決められているところもあって、思うように進められないっていうような現実もあります。

つい先日もやはり同じような課題認識を持っている市内のキャンプ場のメンバーと、初めて市の管轄する部署一つではないのですけれども、いくつかの部署の方たちにもお集まりいただいて、その辺の意見交換とかをしたところなんです。なかなか難しいところはあるかなとは思っておりますが、そんな認識も持ち合わせているという

ころです。

以前から子供たちに自然の中での体験はなるべく提供していきなうってふうを考えていたので、岡田のフィールドを中心に依頼を受け入れてきたことがあるのですが、コロナが落ち着いてきたということもあると思うのですけれども今年度に入ってもものすごくその相談が増えました。環境学習だけではなくて、旭町小学校ですけれども総合学習としても取り組みたいという先生の強い希望もあって、うまくいけば2年ぐらいのスパンで何か子どもたちの林業体験とか自然体験を提供できるかなと思っているのですが、教育学校関係、皆さんお金がないですね。すごく関わってくださっている皆様ご尽力くださるのですけれども、やはり私達も限界があって、可能な限りとは思っているのですけど、やっぱりその辺の予算ってというのが非常に厳しいところがあるのかなと。もしこの公園でどんな施設がすすめられるかわかりませんが、そのハードがどんなものであったとしても、やはりそこで何が体験できるのか、私改めて今回座長を引き受けた際に、事務局の方にアルプス公園の出来た経緯というか、そこを知りたいということで資料をいただいたのですけど。JC（青年会議所）の方々が開園の際に提案を子供たちのために提案をしていただいたということで、それが盛り込まれた

この公園の、理念といいますか趣旨といいますかになっているのですね。文章読み上げますと、全階層の市民が分け隔てのない素朴な憩いの場とするとともに、特に子どもたちが安心して遊び学び、かつ一家団らんの間とすべきなんか本当そんな理念みたいなものがこの場所にはあるのだからということを改めて知りまして、それにふさわしい場所にしていけたらなど。

ただ残念なことにどんな施設を作るにしても、自然に

配慮するということはこの場所を考えれば避けては通れないところだと思うのですが、やはり現状においても多分皆さんは今歩いてこられたところ、わかる方はわかると思うのですけれども、TOY BOXさんすごく綺麗にされているので、多分そういうところに気づかれる方、多くないのですけれども、一歩中に入ると、かなり鬱蒼としていたり地下の水脈みたいなものが滞っていたりそういうところを感じる場所があります。

やはりこれは現代土木の方法ですよ。それがいけないとか っていうよりは、その結果、既にあまりいい状況ではない環境が出来上がってしまうっている。そこがやっぱ私達目を向けなきゃいけないなと思うのですね。

ですので、できればいずれいろいろな認識のずれっていうのは元になっている皆さんへ情報が違うところにあるからっていうのが多く原因としてあるのかなと思うのですけれども、ある映画のセリフじゃないですが、答えは現場にあるっていうぜひ皆さんですね、現地をいろいろ見て歩きながら、今どうなっているのか。そういうところからスタートして、この場所にふさわしい、あの施設はどうあるべきか。そんなことを一緒に考えていければなと思います。

ただ時代に合わせて、その理念みたいなものもないと思うのですけれども、やはり時代に合わせた利活用というのは、自由にあってもいいのかなと。

これだけ広大なフィールドですので、いろんな利活用がなされていいのではないかなというふうにも考えております。市民の人たちに喜ばれるようなそういうアルプス公園になることに繋がる提言ができればなと思っておりますので、皆様のご協力よろしく願いいたします。

【委員自己紹介】

(発言者：市川)

市川壮一と申します。よろしく申し上げます。

この会はまず皆さん一人ひとりが思っていることをたくさんいい、それをみんなで提言したいなというのが私の中ではあります。私自体がTOY BOXを作った男です。今から2006年、TOY BOXを作りまして、地元の業者4社、業種の違う業者を集めまして、TOY BOXを作りました。それは県の指定管理を信州スカイパークに名前をあげたいっていう気持ちも私ありまして、そこからスタートして10年間親がてらやってきました。もうやめてその役も降りていますが、そういう感じでTOY BOXに関わった。というよりも私は本来、原さんがおっしゃったように今土木の技術がその自然からかけ離れているとおっしゃっていたのですが、実は私は土木の技術者でいたのです。

城山に関しては、団地から南に入ってくる道路、それと途中にある蟻ヶ崎高校のグラウンドは私が現場の代理人として仕上げてきたところなので、非常にこの公園も関わりましたし、作ったことも、そういうことで非常にいろんな意味が深いこのアルプス公園ではあります。そんなこともあるのですが、実は私もあの教育委員をやらしていただいたときに、やっぱり学校の先生に小・中学校の子どもたちにもっともっとうるアルプス公園みたいところで遊ばせてみませんか。先生は学校始まったら今日は天気がいいから授業を止めてみんなで遊びに行くぞというようなことを教育に提案したのですが、校長会で言ったら、そういう自由なことにはできないと言って通らなかったのですが、そういうのもまたいろいろと市の教育委員会と一緒に、いろいろなことができてアルプス公園を使えればなっていうものを考えております。

どうぞよろしくお願いいたします。

(発言者：梅津)

地元町会代表ということで蟻ヶ崎台町会。ちょうどこのアルプス公園の下にあります町会の町会長をしておりよろしくお願いいたします。

アルプス公園の魅力向上検討会議ということで、幅広く。いろいろな問題があるじゃないかというふうに思っておりますので、オートキャンプ場云々なんていうのはもう頭から離してですね、公園の全体の魅力向上にいろいろなことで、ご協力できればというふうに思います。よろしくお願いいたします。

(発言者：小川原)

地元白板地区放光寺町会の町会長を2年務めさせていただいて、今年4月からは顧問ということで務めさせていただいております。その前2年間はですね北側の関係で、自然活用実行会議の役員を務めさせていただいて、そんなことから思いはともアルプス公園にあります。地元の近くにあるのでちょくちょく遊びに来たりしています。そんな中でいろいろ感じているなかでの一つが、先ほどご挨拶にもありましたが、誰もが気軽に訪れることのできる公園、もう一つは、ある人は生き返った気持ちになれるような自然。健常者に置かれましては理解思われなかもしれない。私もちょっと心臓を病んだときに、こちらのほうに散歩してくるのが本当につらかったのですが、近くにこういう公園があって、そういうような実体験があるなかで思いました。もう一つは、自己PR大変失礼なのですが、絵を書いています。この高台から何枚かの北アルプス、安曇野から北アルプスを何枚か書いています。それを機にこの展望はですね、本当に私の先輩とスケッチに来た時にこれは世界に誇る、もちろん日本一の眺望だと、こういう太鼓判を押してくれる。

まさに誇れる公園だな、こんなことを感じたものですから。今回のこの役を引き受けたわけであります。微力ながら力になればと考えていますのでよろしくお願いいたします。

(発言者：高山)

高山と申します。所属は日本ビオトープ管理士会会長となっていますが、ビオトープっていうのは何かこう説明すると長くなるのですが、簡単に言うと身近な自然ということです。身近な自然の持つ力で自然に生かしているというそういう会でございます。ビオトープ管理士という資格もございまして、その会は北海道から沖縄まで1,000人くらいの会員がいるのですが、本部は東京にあります。私は松本に住んでいて、松本の出身でして、小川原さんと同じように北側の会の委員も仰せつかっております。

このアルプス公園が開園した当初から私ここへ来ていまして子どもたちもちろんここで遊んでいて、今孫達がここで遊んでいて3代にわたってこの公園にお世話になっておりますので、なんとか恩返しができると思いますのでよろしくお願いいたします。

(発言者：深澤)

アルプス公園周辺住民有志の会代表の深澤と申します。よろしくお願いいたします。今もお話が出ましたように、小川原さんのお話の通り、本当にこの眺望はですね、本当に自慢できるアルプス公園ならではの場所だと思います。これ自然方向の未来の子どもたちのためのアルプス公園になること。これをやっぱり大事にして、一緒に皆さんとアルプス公園の魅力作りを検討させていただきますのでよろしくお願いいたします。

(発言者：林)

皆さんこんにちは。初めまして。私は松本市内で飲食

店を経営しております。あと、お酒ビールの醸造会社を
経営しております。林と申します。今回アウトドアプロ
ジェクトとしてこの会議にご指名いただきまして参加さ
せていただくこととなりました。

私はコロナ禍におきまして非常に、苦しい2、3年近
くを過ごさしていただき、どうしたら市の魅力を活かし
ながら多くの方が楽しんでいただけるようなものを作る
じゃないかなということでもいろいろと検討させていただ
いた経過がございます。

私も、蟻ヶ崎の出身でございます。小さな頃から母親
は新聞配達しておりまして、一緒に小さい頃、母親に付
いて蟻ヶ崎のお宅を朝回る中母親に、素晴らしい、景色
だな。本当にこの景色は素晴らしいよね。毎日のように
母親に言われて育ちました。皆さんと同じ気持ちでござ
います。

ですので、皆さんと一緒にキャンプ場というありきで
はないということで、私も考えていきたいと思えます。
より良いものが作れるように皆さんとご一緒に検討させ
ていただきたいと思えます。どうぞよろしく願いいた
します。

(発言者：田力)

皆様こんにちは。私はガールスカウトといいまして、
少女たちの6歳から上は高校生となっておりますが、そ
こで日頃活動をしております。アルプス公園に関しまし
ては、夏にネイチャリングフェスタというイベントを開
催しておりまして、そこでは6、7年ぐらい実行委員と
して企画運営に携わっております。そういった中から今
回この委員のお話をいただきまして、アルプス公園の活
動、そういったところに一緒に参加させていただけると
いうことで、ぜひ皆様と意見を交換していきたいと思
います。ガールズスカウトの活動は自然を生かした体験

を常日頃しておりますので、私の立場としてはガールズスカウトの子供たちも楽しく、ここでさらに活動できるような、今の非常に制限された場所が多いので本来の活動ができないとかそういった問題も抱えてありますので、そういったことも含めて一緒に皆さまと話し合いさせていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

(発言者：須澤) 皆様こんにちは須澤加奈子と申しますよろしくお願いいたします。

5年前、元松本市保育園保護者会連盟の会長を務めさせていただきました。

子どもたちは小学校4年と2年と年中さんの男男女女の三人の母親をやっています。肩書としては、才教学園非常勤講師4年目になります。育休前は公立学校の教師を13年間やっていました。ですので、教育にも関わって、現在も関わっているという立場と、保護者としての目線で関わらせていただきます。まだ子供が3人もいて育ち盛りということで、毎月このアルプス公園にはお世話になっていて、出身は下諏訪町で松本市は旦那の実家であり2世帯住宅で生活をしているのですが、住んでいるところが近くて、かりがねサッカー場のあたりに家がありますので、本当に身近な場所として、このような会議に参加できて、光栄です。皆さんといいものを作っていただけると幸いです。

(発言者：佐藤) 皆さんこんにちは。こんにちは。僕は信州大学の経法学部応用経済学科3年で、今回唯一大学生で参加させていただきます。僕は、もともと結構自然が好きで、今も夏だけですが白馬村のほうでネイチャーガイドをやらせていただいています、子どもたちがやっぱり自然に触

れる機会っていうものの大切さなどは日々感じているので、そういったところで関わらせていただければなというふうに思います。

アルプス公園は本当に僕もまだこっちに引っ越してきて3年目ですけど、本当に大好きで夏場だと本当に週5日くらい行ったりすることもあって、本当に素晴らしいところと思っています。やっぱり生き物の種類が本当に多くて、本当に多分日本中のいろんな自然公園を回っても、ここまで多様性のある公園っていうのは他にないじゃないかというぐらい。相当いろんな子どもたちの学びができると思うので、そういう本物が触れられるような場所にできたらいいなと思っています。微力ながらお力添えできればなと思っています。よろしくお願いします。

【アルプス公園の利用状況及び整備地について】

(発言者：石井)

資料をお付けしておりますので、ご覧いただきそれから基本的な用語が、先ほども言いました北側とか南とかいう言葉も出てきますので基本のご説明をし、それから少し大まかな流れということでご説明をさせていただければと思います。

資料が4ページになります。右上に資料3という表示でございまして、アルプス公園整備の資料でございます。

こちらにつきましては先ほど現地の方で市長それから課長の方からもご説明ありました細かな行政的な整備の経緯を載せてございます。先ほど課長からもありましたけれど、昭和10年代、種畜場という形で活用されてきて、昭和41年に県が種畜場跡地を市に無償で払下げとなり、昭和45年に、先ほど原座長からご紹介少しありました松本青年会議所の方で「城北を子供たちの手に」というような考えのもとに市議

会の方にも整備に関する請願書を提出されていう形です。昭和49年に総合公園として、開園をしてその後順次、昭和53年に小鳥と小動物の森、それから昭和62年にアルプスドリームコースターが竣工という形になり、それから平成になりまして、平成11年3月ですか、公園北側を拡張するというようなことで基本計画を策定しております。事業が進み平成19年5月、アルプス公園が今の形に拡張された形でリニューアル、それから同時に山と自然博物館が開館して、それから平成27年旧まきば山荘跡地を市が用地取得をしてございます。ここから未整備地といいますか、用地は取得いたしました。その後も臨時駐車場という形で今使っていて、この活用がずっと課題であったというところでございます。

平成30年3月には既存の建築物を一部活用するような形で先ほど今年度中に解体をするということでご説明しました、展望広場が完成し、令和3年の7月に小鳥と小動物の森の大規模改修に着手をしてございます。

それから同年の11月先ほどから北側拡張部については検討が先に始まっているということで市長からご紹介ありました。アルプス公園の自然活用検討会議というものを昨年11月に設置をしてございます。これは拡張したときの元々の計画通りに管理運営が進まず、活用が進んでいなかったため、改めて利活用目的に検討を先に進めているものです。それから令和4年3月、先ほど百瀬課長が現地でもご説明をいたしましたキャンプ場の整備計画それから展望広場の建物を改修するというので予算計上してございましたが、耐震結果が著しく強度不足というような形の結果が出ましたので、議会の方に減額修正することでお諮りをし

てございます。その上で改めてゼロベースからの検討をいう形で今回の魅力向上検討会議の設置になっております。それにつきましては以上でございます。

下の松本市の総合公園でございますけれども先ほど市長の方からも挨拶がございました総合公園というのは、休息、遊戯、運動の総合的な利用を予定することを目的とする公園で都市機能に応じて大体10から50ヘクタールの面積を標準としているもので松本市では松本城公園とアルプス公園、この2ヶ所が総合公園ということで規定をしてございます。それから松本市の大きな計画がありますが総合計画10年に基づいて第11次基本計画という5年計画もありますが、そこでも松本城公園、それからアルプス公園ということで今後の施策の方向性ということで、それぞれ都市公園について明記をしてございます。

4ページの右上に行っていただきまして、アルプス公園の全体でございます計画面積72.7ヘクタールという形で大きく分けまして右側が開園部という形でこれが昭和49年3月に総合公園として開設をした部分でございます、左側青い点線の左側その拡張し、今居る森の入り口休憩所に当たりますけれども、拡張部はその後、平成19年に拡張して現在の公園の面積となっています。今日皆さん見ていただきました南入口駐車場から入られまして、アルプス公園の南側の玄関口とするこのエリアの利活用について皆さんも検討いただきたいというところです。

アルプス公園全体の魅力向上と書いてありますが、これが少し、先ほど市長ここ触れておりましたけれども、北側を拡張ということでこの拡張した際拡張基本計画の策定をしているのですが、その際に整備構想として示してございます。元々あったものが右側開園南

側になります。施設型の公園整備ということで進めていく。それから北については拡張が自然活用型公園ということでこの両輪を回して公園全体の魅力向上を図っていくというのが拡張したときに示した理念でございます。よく南側が開園部、北側が拡張部という入り合わせをして、こう言った定義づけをしているというものでございます。

6ページにお進みいただければと思います。利用者アンケートということで、こちら指定管理でTOY BOXさんの方に指定管理していただいております。通年で利用者さんにアンケートをとっているということで、令和2年のアンケート調査結果ということで毎年実施しているものですがお示ししてございます。上の方が居住地・年齢層・来園目的ということで三つございまして、上に少し整理をしてございますが、来園者の約6割が県外を含む市内居住者というような利用実態がございまして、それから約7割が20歳未満で約5割の人が子どもの遊び目的として来園されています。それから下の利用者に向けて、その2でございまして来園者の約5割が景色の良さ、それから広々としたスペース、そういったものの来園を目的に上げて利用頻度につきましては年に数回の方が約5割、滞在時間、大体3時間位です。3時間ぐらいの方が約7割というような形態で続いています。

資料4-7ページまで少しご説明させていただきます。今後の進め方ということで少し大きな年7回ということで予定をしておりますが、大まかな流れでございまして。令和4年分につきましては、今回第1回目を現地確認、意見交換していただくというふうに書いてございます。第2回を来月開催予定しまして、今年度後その上で第3回、第4回、第5回ということで開催をし

ていきたいと思っています。案でございます。委員の皆さんからご意見いただいたと思いますけれども、少し市民の皆様から意見を第3回のワークショップそれから少し第5回フォーラムという形で市民の皆さんのご意見を聞いていきたいと思っています。それから令和5年度は本当に予定案でございますけれども第6回第7回ということで、意見交換をした上で大まかなスケジュールになって6月に提言をしていきたいなというふうな形でのスケジュールを考えております。

【意見交換】

(発言者：原)

先ほど自己紹介、それぞれしていただきたいのですがけれども2分というお時間あまりお話しきれてない方もいらっしゃるかと思うのですが初めてという方が多い中で、もう少し皆様方、バックボーンといえますか、考え方のベースになる部分をすいません私が個人的に知りたいっていうのもあって、もう少しお聞かせいただけないでしょうか。

もう少し皆様のことを知りたいなというそんな気楽に考えていただいていいですが、もう少し自己紹介をお聞かせ願えないでしょうか。先ほどの順番通りで。

(発言者：梅津)

ご指名ですので、最初に意見をやらせていただきます。先ほど自己紹介で触れましたけども、なんとなくオートキャンプ場ありきのような何か持って行き方で、あそこの案内それからいろいろとともにそういう場面が見受けられるのがちょっと気になるのですけれど、もっと本当に広く愛されるアルプス公園であるような形が検討されるふうに私は思っています。

それにいろいろ機能を作るということはですね、公園をしょっちゅう利用している人達からはいろいろな

意見が出されている。そういう細かいことでも何か拾い上げていくようなことをやっぱり目を向けるということも大事ではないかと思う。

(発言者：原) 梅津さんのお考えは、例えばどんなことがあそこに整備地に。

(発言者：梅津) 場所的には素晴らしいところですので、もっと親子連れが自由に、あそこを利用した形で、そこからいわゆるピクニック広場へのルートを回遊するルートを作るとか、そういうようなことの活用ではないかなと思っています。場所はとにかく素晴らしいです。それで少しでも子どもたちが、何か視界が草で妨げられている部分がありますけど、あの辺をきちんと整備すること。素晴らしい場所になるのではないかと。それでそこに親子連れがお弁当を広げてというような、そういう姿が私はいいのではないかと考えております。

(発言者：小河原) 先ほど自己紹介でお話をしたこと以上に私のPRすることはもう全くございません。私はこの自然の空気、そういう感受性を体で感じることに、先ほどの風景の話をしてきました。そういうことの思いを大切に、そんな角度からお話をさせていただきます。

今座長の方から何でもいって話が出たものですから、2つほど質問してよろしいですか。まずこの資料1の、お話をしている中でごめんなさい。このアルプス公園の全体図となりましたね。資料1じゃなくて全体図今回はこの右側のあるマークされたところについて検討していくっていうように、先ほど聞こえましたが、公園の全体ですよ。

(発言者：石井) それでは所掌事務のところにお戻りいただきまして2ページになります。所掌事項で第2のところでございまして、検討いただきたいというのは、そこだけに限ったということではなくて、まず未整備地の利活用。

それから、展望広場解体を今年度中にいたしますので、あの展望広場を解体した後、その実態をどうするのかといったときに、(3)でございますが、未整備調布の公園南側の玄関口に当たる1階の利活用というときに、南側の一体ってどこを言っているのだからというところが少し視覚的にわかった方がいいということで、それが15ページのところの表示する候補を赤く塗ったところでございます。明確にこれ一体がどこだってことを我々も定義しているわけではないですが、どのぐらいまでを含むのかということの色分けしたものでございます。ここだけを検討するというだけではもちろんございません。

その上で2ページの所掌事項でございますが(4)ですが、本当に公園全体のさらなる魅力向上を図る方向性ということで、北側ともあわせてどういった公園の利活用がいいのかといったところ少し広いところまで最後方向性までいけたらということで、限定してエリアのところを検討していただきたいということではないですが、少しエリアについては段階的に南側一帯でも特にイメージできないところだと思ひまして、示したところでは。

(発言者：小川原)

ありがとうございます理解できました。もう1つ、2つと言いましたけどもう1つですが、資料1の全体図がございまして、ここにそれぞれ名称は小鳥と小動物の森、家族広場等々あります。今回、会議を進める中で、それぞれの管理はいいですが、利用状況と利用される人の状況等を概略でいいから説明をいただきたい。特に山と自然博物館何回も訪れているものの、私はまだこの状況がよく分かっていません。管理運営状況または利用状況をこの自然博物館につきましては、できるだけわかりやすく説明をいただければと、かよ

うに思います。

当時、県の建物というような話も治山事業の施設とも聞いたのですが、その辺も明確に説明でただければありがたいです。シンボルタワー的なふうにも見えるものですから。これらを含めて、周りですね近隣の利活用を考えたい、そんな気持ちもあるものですから。質問させていただきます。

(発言者：石井) それについての回答は今日じゃないと駄目でしょうか。整理を、所管が教育委員会のようなのでどうでしょうか教育委員会所管の詳細な利用状況を確認しますので、それでは次回会議として、それよろしいでしょうか。

(発言者：原) 教育委員会の所管だそうで、ちょっと今すぐにお答えできる内容ではないということで次回以降のよろしいでしょうか。

(発言者：小川原) はい。

(発言者：原) 私の個人的な関心はですね、小河原さんのような感受性がどうやったら育つのか幼少期とか明るい子にどんなことをされていたのかなってというのが聞きしたいなど。

(発言者：小川原) 小さい頃はおむすびだけを食べていた。おむすび食べながらしょっちゅう出掛けていた。

(発言者：原) 出身はこちら？

(発言者：小川原) 出身は当時の坂井村、東筑摩郡坂井村。木曾山林という高校を出て、国有林について勉強させていただいて、自然が大好きでした。そのうち山は登るものではないと、下から見て絵を描くものだ。

(発言者：高山) 話すと長くなるので、すごく簡潔に言います。まず、我々の今日初めてお目にかかったのですけれども、共通認識として、情報共有しておかないと思いますので、今後どこかの時点で、この公園の位置づけというのを再確認する必要があります。百瀬課長、臥雲市長さん

もおしゃってましたけれども、アルプス公園は松本市の都市公園であり、総合公園の一つなのです。松本市の都市公園でいろんな公園の区分があるが、なぜアルプス公園が総合公園として位置づけられたのか、総合公園とは何か理解しなければいけないと思う。開設時に調査とか構想とか計画で大事なところだけ我々に1個状況を教えていただければそのエッセンスだけいただいてアルプス公園はこういうために開園してきたという基本的なところをされる人も。その後も50年余り経った中で、本当にアルプス公園の環境特性を生かした魅力は何だったのかそれが本当に生かされてきたのか。生かされてこなかったのであれば、その原因が何なのかっていうところをまず情報共有しなければいけない。結局10人の委員がいれば10人の考え方が全然違いますので、いろんなどころからご意見を出されて、そのための委員会だと思う。それが大事だと思う。そういったことを踏まえて、検討していくのですが、私のも私の基本的な考えとするとやっぱりアルプス公園の南側と北側で大きく環境が違います。先程説明ありましたが、南側は子ども達が走って遊べる場所で、北側は体験や自然学習ができる場所。とテーマの下の多分皆さん共有されてるので、その時点でこれ全部それから、南側のキャンプ場が予定されていたところというのは今利用されてないから何かを利用するためにある場所という風に考えていかなければいけないと思う。というのは、ここはもともと山林であって、種畜場に改変されて、それから公園になったという経過があります。元々は里山であった。そこを伐開して公園にしたという経過がある。実は中国では退耕還林して、あの耕地に起こしたところを林に戻そうというそういう思想です。作ったもので遊んでいる土地があれば、そ

こは何かを開発するための土地ではなくて自然に戻してもいいというもう一つある。ただし、アルプス公園は多分このように戻すことはできないと思いますので、子どもたちのために、何かになりそうな、そのようなことを考えておりますので、今後の議論に参加させていただきたいと思っています。

(発言者：深澤)

私は一日おきぐらいですか東入口駐車場のところへ車を停めて136段の階段を上って花の丘からずっと一旦の自然博物館まで、歩きます。歩いています。やっぱり公園が好きです。ということで、やっぱり一番気になるのはね今 TOY BOX さんが管理していますが、まずちょっと質問1つは何人でやってらっしゃるかちょっとそれだけお聞きしたいのですが、やっぱりいろいろお金をかけてやっているのしょうけれども、人数が不足しているような、何とか整備がちゃんとしていないそれにお金をかけてもらいたい。それから一番僕は残念なのがね、散歩していて残念なのが、あそこの眺望台が、あの展望台だけれども、1年間ロープを張ったままのことが悔しかったです。これから南口のほぼまた皆さんと検討していくでしょうけれども、あれは何とか復活してもらいたいですね。これこそね、アルプス公園のシンボルと思います。小川原さんもおっしゃっていましたが、やっぱりこれを大事にし、あとは整備不良ですけれども、あずまやとか木製のテーブルですね。あれが段々腐ってこそ、そのままほったらかしで、それを作って綺麗なテーブルでみんなが座ってまたお弁当を食べたいという気持ちにもなると思います。そういった細かいじゃなくて、目につくところですね。これを大事にしてもらいたいなということです。ですから管理の仕方が少ないのが多いのかその辺をね、質問したいのですけれども。自然の花とか

木とかそういったのも倒れたままとかでボロボロからもやっぱりズタズタにされたままなのでこれをね、きちっとしたものならもっと公園が素晴らしいものになると思いますので、その辺またちょっとお聞きしたいなと思いますしまたいろいろとありますけれどももうこれぐらい。

その他に、ゴミがマスクとかね、子どものマスクです。それからいろんなものを捨てたまま、それはやっぱり片付けてないですよ。何日も。それから樹木花の管理、例えばプレートがないし、壊れたまんま、それから花なんかも取れたまんまやっぱり地元の綺麗にしてもらえばいいかなと森本の花の声ですよ。それから水辺の広場ですけど水も泥水で青く藻ばかりで、ツルツル滑るような水であればやっぱり掃除してもらいたいなど。先ほど申しあげましたその前の木製のテーブル、椅子など腐食が進みます。防ぐ塗料を塗ってもらいたいなど。ということです。そんな感じで、例えばこの手すりもそうですよね。もう押せば倒れる。こういう管理をきちっとやってもらいたいですよ。そういうところにお金を使ってもらいたい予算、それからしつこいけれども、展望台をぜひ復活させてもらいたい。

(発言者：原)

多くはTOY BOXさんが理由ではないのかな。

(発言者：百瀬)

TOY BOXが指定管理を受けていただいています。人数について今所長も含めて6人から10人ということで、忙しいこの土日・祭日とかのときは人員を増員をして、ドリームコースターなり安全性を高めています。その中でやっていますが平常時は6名で対応しているということです。その中でなかなか行き届いていない部分もということです。こちらのデッキの部分っていうのももちろんこの施設については我々

所管する公園緑地課の方で予算をとって修繕をしていくという形になるのですけれども、私ども今の北側の検討会議を受けて、今実行会議を立ち上げていて、その中でとにかく市民の皆さんも使っていただくことで、よりよくこの場所をまたご覧になっていただく中で、よりその市民の方のいわゆる手を差し伸べていただければ少しでもまた改善と一歩進んでいくのだろうと、それについて私どもの施設は修繕なり補修をしていく計画もこの委員会の中でいただいて実行に移していきたい。長い計画になりますけれども将来的な計画として見据えていきたいと考えています。

(発言者：林)

私としては、まず皆さんがどのようにやっぱり未整備地に関して意見を持ってらっしゃる。そういうところをしっかりと伺いたい。何に活用されたらいいのか。またはキャンプ場なんてもってのほかだ。これはもちろん私もそれを押しして皆さんにどうしてもやりたいのだということではないのですね。どうしたらそこをもっともって魅力のあるもの変えて、せっかくあの素晴らしいロケーションも何も使わないので本当にもったいないと思います。もったいないからやらない。そういう考え方もまずいいのかもかもしれませんけれども、やはり松本の魅力の公園全体のものであることはもちろんですが、松本市の魅力としてもやはり活用させていただければいいじゃないかと思います。もちろん、のんびりとお散歩するまたは子どもたちがここでゆっくり、そこで何らかの商業活動をすべきではないかというのが、皆さんのご意見をお伺いした上で、アウトドアプロジェクトとしてはまた当店のアウトドアの聖地になりそうだと思っている。松本城・サイトウキネン、温泉やいろいろなところがある中で、もっと本当に街を盛り上げる。ただ、多くの若者たちが、そこに

興味を持ってくださるのではないかなというふうに考えます。市への移住者の取材インタビューがYouTubeに上がっていました。その中にあるアウトドア好きだからこの町に移り住んだ。移住しましたという方が私の会社にも、実はアウトドアを身近に楽しみたいという県内から移住された方もいらっしゃいます。そういった観点も含め皆さんとご一緒にこのエリアを何としても、何か魅力があるのだとできたかなとこういう議論が何か、これまでなかったことだと思う。市議会の中でも傍聴する中で、そういったご意見全く無くでして、ただ単にキャンプ場は駄目だ、何を考えているのだ、というようなご意見があったように感じた。こういうことを議論こそが必要な部分でそういった部分を、本来であれば議員の皆さんがやるべきという感じ。

(発言者：田力)

意見というのは、今日はちょっと特に大きな声で言えるっていうのはないけれど、ネイチャリングフェスタを経験した中で、毎年あのネイチャリングフェスタの主催というのは松本市それから信毎が行うのですが、松本市の方からはキャンプをやってほしいという要望が毎年一番に対象に上がってきます。以前コロナ前まではキャンプをやっていたのですが、それはボーイスカウトの方たちがそれは本当に綿密な準備をされて、それはボーイスカウトとガールスカウトはキャンプのノウハウがあるのでそれを基にして、あの綿密な準備を当日は本当に細やかにヘルプをしながらするっていうもので、単価2,000円で2泊3日とかキャンプできるので、もう県内の方たちからも非常に人気があるということで、リピーターが多く、例えばドラム缶風呂体験とか。キャンプファイヤーやってくれとか。今コロナになったのでそういったことはで

きなくなってしまったのですけれども、ネイチャリングは本当に準備が大変で、今もう現状としてはボーイスカウトもそこまでやってくれる人がいない。今年もキャンプっていう声が上がりましたが、誰がやるのですかっていうことになる。

ガールスカウトは夜というところまでは私達はできないので、そういうキャンプ場っていうのはやっぱりいろいろな心配があります。私達もキャンプをたくさん経験していますが、例えば芥子坊主の方に行くと夜暴走族が来て本当に怖い思いをすとか、そういった心配も、出てきますので子供たちが喜ぶ場所作りっていうものが本当にね、何なのかっていうことです。

子どもたちにはどうしても親御さんについていきますし、昼間の時間とそれから夜の時間もどうしてもあるので、とにかく安全性です。管理問題です。やっぱり考えていかないといけないことはたくさんあるかなと思っています。

ネイチャリングフェスタでした関連で言うと、まきば山荘が無くなってしまってからお昼を食べる場所がなくなったってしまい、それでもやはり参加者が多くて私達ガールスカウトは桜の森を利用して、バーベキュー体験っていうブースを開きました。それ3年ぐらいですけど、本当に人気の場所になって一食500円で火起こしから全部自分たちでやってください、ただその代わりご飯からお肉から全部私達が用意して提供しての形になっていて、これは本当に親子が力を合わせて火を起こしてご飯食べる体験をしました。こういった場所もあたらいいのかなど。経験を通してだと、なんとなくですがそういった場所を求められているのかなっていうのは非常に感じる。

ここだともう、桜の森だけになってしまって、もち

ろんですけど直火はできないので、そうすると何か持ってきてってことになりまして、今のアウトドアブームなので、今年のネイチャリングフェスタも結構テント張られている形、日陰用のテントを張られている人もいらっしゃる。そういうニーズっていうのは非常にあるのかな、場所のニーズです。水場です。日陰っていうか、雨よけがちゃんとあれば、もう本当はもっともっと使いやすいかのなっていう感じはあった。10時から始めて、申し込みを24組くらい入れるぐらいのあそこの桜の森にコンロを置いて、飯盒でご飯を炊いてもらう。

(発言者：須澤)

なにかから話せばいいか、皆さんの意見をたくさん聞いてみると何か公園管理が行き届かないことに深沢さんが話されていた。手が足りなくて整備されていないのは、なんか聞いていて学校に丸投げしてもいいじゃないかなって思った。総合学習っていう時間があるのですけど、あれって以外に何をやったらいいのか学校も迷っている学校もあつたりなんかして。適当に時間を潰している学校も少なくないです。決まってないのでこれやれというのは、なのでここを綺麗にしてくれる学校ありませんかって、募集する方法もあります。この言い方は的が外れているかもしれないのですけど、あのゴミ拾いも学校対抗とかで行ってみてはとったりして、自分の学校を思いながら聞いていましたもちろん公立も巻き込んでもいいと思う。聞いていましたが、人の手が足りないのも本当それこそ子どもの生体験が今減っているのも子供と大人で力を合わせてできることは学校を巻き込んで、子どもを巻き込んでやってもいいじゃないかなと思って聞いていました。本当に生体験が減っているのも、子供たちなんかも本当にテレビ、パソコンゲームになっているので、外に出る

ことに対しての大切さ、もっと何かできる場所があればいいんじゃないか。またSDGsも言われている時代なので。SDGs絡みのものを子どもができる場所があれば最高かなと。聞いていました。火起こしできる場所に来るまでが大変で、手押し車で家族連れのお父さんが頑張って運んでいる。それこそ入り口にできたら最高だなんて私はキャンプ大好きなので、あの綺麗なキャンプ場じゃなくていい。本当に体験できれば、私は火起こしを大人がやってくれるじゃなくて、みんなでやろうっていう、料理もみんなでやろうっていうことを大人がやってくれるじゃなくて、生体験。子どもの生体験ができる場所。どっちも魅力です。個人的で言います。奥の遊具広場に恐竜が居るのですよね、知っていますか。いるのですが恐竜がもったいなくて、そういう大好き少年いっぱいでもっと増やしてもいいじゃないかなって。長野の恐竜公園は魅力的です。そこまでではないですけど、大好きです。あれいい。もっと増やしてもいいし、増やしたいなと思った。

小さい子を抱えて、雨降りの土日とか冬の時期で今日どうしようと思ったことが、何回かあって、室内の遊べる場所が意外に少なく、平日であればセンターとかプラザですけど、土日は休日で、しかも父親が不定期な仕事とかだと、母親も負担が楽な場所で子どもが元気に遊べるための場所があればいい。思い描いているのはあづみの公園にあるネットが張られている屋内施設があって、ボールプールがある所を知っていますか。あづみの公園の結構奥の方の真ん中の方ですけど、この建物の3倍、4倍とある大きさ。ネットで上って2階に行けて、ボールプールもあって、いろんなところに網が張られていて、小さい子が転げ落ちない、とても素敵。私が好きでこれが近くにあったら嬉しい

なってすごく思ったりして。

(発言者：佐藤)

僕も何か思っていること。資料1の上から見た写真とか見てですけど、アルプス公園って何か良くも悪くもめちゃくちゃ綺麗だなんていうのをすごく感じていて、だから森になっているところと、完全に草が刈られているところ、どっちかっていうと、子どもたちが遊ぶには確かに安全でいいのかなって思うんですけど、自分の中では子どもたちが学ぶときに何をどんなことを学んだらいいかなっていうのを考えたときに、何か最初から用意されている場所がめちゃくちゃ安全だったら何も学びにはならないなっていうことを僕は感じている。例えば何かそこにも看板が立っていますが、マムシに注意ですけど、もし目の前に今ヘビがいて、それって毒があるヘビかそれとも臆病でむしろこっちが近づいたら逃げているようなヘビなのかっていう、そういうことを見分ける力がつけられるとか。何処に行ったら危ないとか、どういう恰好をしていたら危ないかとか、そういうことを何か自分でできるようになるのが本当にそこでの学びだなんていうふうに普段白馬とかでガイドして感じることもあるので、未整備地とアルプス公園の南側北側全部合わせてっていうところにあるんですけど、僕のイメージとしてはこの完全に草が刈られていない場所と草を全部刈っちゃっている場の中のグレーゾーンみたいなところをもっと増やして、そこでいろんな生き物とか探すなど、そこで何か自然を通した遊びができるような場所があったらいいじゃないかなっていうふうに感じる。安全が全てじゃないのかなっていうふうに個人的には思います。

(発言者：須澤)

元々忘れていました。教育学的に堅苦しいですけ

ど、教育学的に言うと、小学校4年まで個人差があると思うのですが小学校4年までの生体験が将来を左右するって言われているのです。ですので、小学校4年までにいかに遊び尽くすかというのが生の体験を自分その子なりにやりきるかによって将来、解決能力時、自分で問題にぶち当たったときに動ける人材なんかが関わってくるので、ぜひそんな場所になっています。

(発言者：原)

以上で魅力向上検討会議を終了させていただきます。

ご協力ありがとうございました。